

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	乙	第	号
------	---	---	---	---

氏 名 田中 哲人

論 文 題 目

Impact of diabetic retinopathy on late cardiac events after percutaneous coronary intervention

(経皮的冠動脈インターベンション後における糖尿病性網膜症の予後予測因子としての検討)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主 査 委員

有馬 寛



名古屋大学教授

委員

押日 牙治



名古屋大学教授

委員

幸崎 浩子



名古屋大学教授

指導教授

室原 豊明



論文審査の結果の要旨

明紙 1-2

本研究では、待機的な経皮的冠動脈インターベンション (PCI) を施行した糖尿病患者を同定し、そのうち糖尿病網膜症に関する記録の得られた患者を調査した。その結果、PCI 後の主要な心イベントの発生は糖尿病網膜症を有する患者群で有意に多くみられた。さらにその複合イベントを構成する心筋梗塞ならびに心不全入院の発生もそれぞれ糖尿病性網膜症を有する患者群で有意に多く、心臓死についても多い傾向があった。それらの心イベント発生に関して、慢性腎臓病や左室駆出率など他の因子を含めた多変量解析の結果においても、糖尿病網膜症が有意な予測因子であった。本研究は、PCI 後の長期における心イベントの予測因子として糖尿病網膜症の有無が有用であることを示し、それを有する患者においてはより慎重なフォローアップを要することが示唆された。

本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 慢性腎臓病 (CKD) は、その早期の段階から心血管疾患の発症率の上昇に寄与していることが知られている。冠動脈疾患においては、CKD を有する患者は、冠動脈プラークに脂質成分がより多く含まれており、それらは線維性成分が多いプラークと比較して不安定な要素を持つことが示されている。それらの結果からも、CKD 患者が心血管疾患の中でも、プラークの破綻によって起こる急性心筋梗塞など、より重篤なものの発生リスクも高くなる事がわかる。本研究での解析結果からは腎機能 (eGFR) は有意な予測因子とは示されなかったが、その理由としてはサンプルサイズが小さいことが考えられ、今後データを蓄積することにより確認していく必要がある。
2. 糖尿病網膜症と並んで、糖尿病の主要な細小血管合併症として糖尿病腎症がある。さらに糖尿病患者は、高血圧など CKD の危険因子を高頻度で合併している。そのため必然的に糖尿病網膜症と CKD は高頻度で併存し、両者に密接な関係があることは広く証明されている。本研究においても、糖尿病網膜症を有する患者群において、CKD の頻度が有意に高かった。
3. 本研究の解析結果からは糖尿病網膜症が長期の心イベントに対する独立した予後予測因子ということが示された。しかしながら、この結果は、必ずしも糖尿病網膜症が臨床的な他の要素と関連なく予測因子として成立していると解釈できるわけではない。潜在的な時期を含めた糖尿病の真の罹病期間など、明確にされにくい臨床的要素は多く存在し、本研究においてもそれらは十分に調節できておらず、それらの因子も糖尿病網膜症の有無には複雑に関わっている事が想定される。ただし、糖尿病網膜症は、ある時点においてその有無を明確にすることができるため、臨床現場における一つの表現型としてより実用的な予後予測因子として考えることができる。

以上の理由より、本研究は博士 (医学) の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※乙第	号	氏名	田中 哲人
試験担当者	主査	石馬寛	柳月 牙彦	赤崎 浩子
	指導教授	室原 豊明		

(試験の結果の要旨)

主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。

1. 慢性腎臓病 (CKD) と心血管疾患 (CVD) との関連について
2. 糖尿病網膜症と慢性腎臓病の関連について
3. 心イベントの予測因子としての糖尿病網膜症と他の因子との関連について

以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、循環器内科学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。

学力審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※乙第	号	氏名	田中 哲人	
学 力 審 査 担 当 者	主 査		有馬 寛	押田 晋治	寺崎 浩子
	指導教授		室原 豊明		
(学力審査の結果の要旨)					
<p>名古屋大学学位規程第10条第3項に基づく学力審査を実施した結果、大学院医学系研究科博士課程を修了したものと同等以上の学力を有するものと学位審査委員合議の上判定した。</p>					